

不動産学の魅力

明海大学 不動産学部

第4回



池畑 莉乃
不動産学部4年

たとえ相手に怒鳴られたとしても最終的にはとてもやりがいを感じる仕事だ、という説明だった。「クレーム対応ではなく、困り事を解決する仕事です」とも言っていた。

られる可能性もあり、取得するメリットはとても大きい資格だ。

セミナー活動で賃貸不動産管理会社を訪問した。大学で不動産学全般を学んでいるが、管理会社にはあまり関心がかかっていた。将来は不動産有効活用や都市開発など

「それは、捉え方の問題ですよ」これが担当の方の答えだった。

賃貸管理会社の魅力

困り事を解決するパートナー

確かにクレーム対応は大変なのだろうが、考え方ひとつで、仕事のやりがいは変わってくる。何よりも縁の下の力持ち的存在である管理業は、なくてはならない仕事だと考えるようになった。

管理業はスツックビジネスであり、毎年安定した収益が見込める業種であり、今後、不動産業界で更に注目されていく業種だと思ふようになった。食わず嫌いをやめ、興味の幅を広げ、いろいろなことに挑戦していきたいと考えている。

大きな仕事をしてみたいと考えていた。賃貸管理は、建物のオーナー、賃借人双方からのクレーム対応が多そう、とても大変なイメージがあった。

例えばエアコンの故障などは致命的なので、管理会社に対し感情的になり怒鳴る人も居るそうだ。しかし、管理会社はオーナーや賃借人の味方であり、困り事を一緒に解決するパートナーとして捉えることもできる。困り事を解決することで相手に感謝され、ありがとつと言われることは、手間や時間が掛かって

その後、もっと深く管理業について知りたいと興味が湧き、賃貸不動産経営管理士の資格勉強を始め、昨年合格した。賃貸不動産経営管理士は、賃貸住宅に特化して管理に関する知識・技能・倫理観を有すること

【教員コメント】就活において管理業界の人気は必ずしも高くない。そこで働く従業員の喜びは何か？賃貸管理業の楽しさはどこいつ点にあるのか？若く優秀な人材を管理業界に招くには、この問いに答えていく必要がある。中村喜久夫

訪問先では、管理業務の内容について丁寧に解説してくれた。役割ごとにいくつかの部署があり、大きく分けて顧客対応、契約書作成、クレーム対応に分かれていた。疑問があればなんでも聞いてくださいとのことだったので、正直に聞いてみた。「管理業はクレーム対応が多いイ

「管理業はクレーム対応が多いイ」とも言っていた。正直に聞いてみた。ことに、手間や時間が掛かって

を証明する国家資格だ。同資格の専門知識を生かせる賃貸住宅市場は拡大傾向にあり、今後独占業務が与え

い必要がある。中村喜久夫



管理業者で実務の説明を受ける